

# 学校だより

平成30年度 第8号  
2018.7.18. 発行

自分も人も大切に ～思いやり・チャレンジ・しなやかな心～



葉山町立長柄小学校

校長 岡部厚子

Tel. 046-875-6860

Fax. 046-876-0682

\*ケンカして泣いて、仲直りして笑った、雨上がりの空みたい\*

学校では、毎日いろいろなことがあります。時にはうまくいかなかったり、友だちと気持ちがすれ違ったりして、いつもの笑顔が曇ることも。でも、みんな長柄の子。仲良くしたい気持ちは一緒です。仲直りの仕方を学んで、まわりの人たちからの思いやりを感じて、「自分も人も大切に」する子に育っていくんだな、と思います。



## 個人面談

～ご来校ありがとうございました。～

7月2日（月）から6日（金）に実施しました個人面談にはご都合をつけてご来校いただき、ありがとうございました。

短い時間ではありましたが、おうちの方と担任が共通理解のもと、お子さまの成長を支えていく上で大切な時間だったと思っております。また、学校全体で共有が必要なことについては打合せや会議等で把握し、今後の教育活動に生かしていきます。

今回は、昨今の日本各地での事件・事故・災害等の報道をうけ、特に安全面でのご心配やご指摘が多くあがっていたと報告がありました。学校や町での取組状況は次の通りです。



## 裏階段側壁のひびわれについて

近年、再三にわたり学校から、また、保護者の方からのご意見として、葉山町教育委員会に安全の確認を依頼し、構造上問題なしとの報告を受けていました。大阪の地震によるブロック塀倒壊による女児死亡事故を受け、再度、ひび割れの状況を報告し、6月29日（金）に町の建築士による調査が実施されました。ブロック塀とは全く構造が違うものなので、このまま、通学路として階段を利用してよい、という結果でした。

学校では、引き続き定期的な点検を依頼するとともに、想定外の規模の地震発生等もふまえ、避難行動の基本について、子どもたちに指導してまいります。

## 通学路ブロック塀点検結果

6月末から7月にかけて、5, 6年職員、教頭、校長で通学路のブロック塀の状況を見てまわり、老朽化やひびわれ等の状況をまとめ、教育委員会に報告しました。また、保護者の方からも数件情報をいただき、ありがとうございました。

学校としてできることは、上記の場合と同様、通学時の避難の仕方について、どんな行動をとるのか、いろいろな場面を想定して子どもたちに指導していくことだと考えています。

## 学校避難訓練の反省について

1学期に校内での避難訓練を2回、また、一斉下校訓練、引渡し訓練を実施しました。各訓練とも訓練後に反省をまとめ、対応の仕方に変更を要する部分を確認しております。

一斉下校訓練では「校内放送による集合のさせ方」「児童の掌握の仕方」の見直しを行いました。また、引渡し訓練では「校舎倒壊」を想定して校庭での引渡しを初めて実施し、いろいろな場合を想定するという意味で、一定の成果が得られたと思っています。暑い中保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

☆「通学中に地震が発生したら」というプリントを配付しました。

ご家庭でも一緒に確認をお願いいたします。

## のびのび楽しく水泳学習

各学年のようす～学級だよりから



**1年生:** らっこ・ペンギン・いるか、の3つのグループで練習しました。みんな、楽しく学習できました。

**2年生:** 強風の日もありましたが、そんな時はプールの中に避難してたくさん泳ぎました。

**3年生:** お天気にもぐまれ、最初は少し冷たかった水の中も温度が上がり、泳力別でレベルアップを目指しました。

**4年生:** 「最初に流れるプールを作りました。グループ練習ではビート板を使って息つぎの練習をしました。…これからも楽しく泳ぎ、上達していきたいです。」(U.M.さん)

**5年生:** 泳力チェックと自己申告で3つのグループに分かれて「もう少し上の自分」をめざし、もぐれる時間や泳ぐ距離の長さにも挑戦しました。

**6年生:** 水泳学習スタート時のお天気に恵まれず、プールに入るのが一番最後になった6年生。後半は天気にも恵まれ、最後は「**着衣泳**」の学習をしました。

### 【着衣泳とは】

着衣泳とは、上手に泳ぐための練習ではなく、水の事故から身を守るためのものです。水の事故は、プールや海ばかりではなく、津波や洪水により引き起こされる場合もあります。

服を着たまま水に入ると、どのような状況になるのかを体験し、対処の仕方を学びました。

今回、講師をしてくださったオーシャンファミリーの方々は、万が一の時に「命を守る」ためのいろいろなことを教えてくださいました。

**その1:** 底の見えない水の中を歩くときには、つま先を前に出して、底の状況を探りながら歩く。少し腰を落とした方が安定する。

**その2:** 水の中で速く移動したいときは、足を外側に回転しながら走ると水の抵抗が少ない。

**その3:** 自分が水に落ちてしまったときは無理に泳がず、「背浮き」で体力を温存する。

**その4:** 水に流されたり溺れたりしている人を見たら、自分で泳いで助けようとしな**い！！**  
大人の人や救急車に連絡。落ち着くように声をかける。



### 〈児童委員会・活躍しています〉



【保健委員会】  
トイレの使い方呼びかけ



【給食委員会】  
牛乳パックの片付け方呼びかけ

【生活美化委員会】  
落とし物の整理や記名の呼びかけ

